

主役はキミの「自分で考え、伝える力」

生成AIは、考えることを助ける道具

生成AIは、質問や指示に合わせて、新しい文章や画像、アイデアなどを出してくれます。質問に答えたり、考えのヒントを出したり、文章を見直したりできます。しかし、正しそうに見える間違いや、かたよった内容を示すこともあります。使うときは、AIの答えだけでなく、自分で考え、他の資料と比べ、最後は自分ではんだんしよう。



1 学習活動で使ってよい生成AI

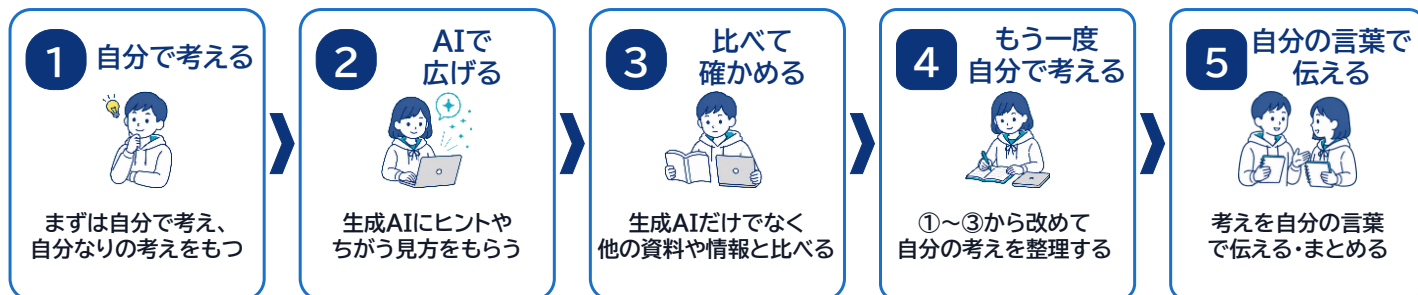
学校が利用をみとめたサービスだけを使います

学年	タイプ① 直接相談する	タイプ② アプリ・検索に含まれる
小学校1～4年生	自分では直接使いません。 先生がみんなに示すことがあります。	※  Chrome検索（AIモード）
小学校5・6年生 中学生	 Gemini  Gemini Notebook 事前学習の後、先生が示した範囲で利用	 Canva  ジャストスマイル など 先生が示した場面・はんいで利用

先生が「使ってよい」と示した場面・範囲で使おう

2 使うときの5ステップ

生成AIに何を聞いたか、先生に伝えられるようにしよう！



学びを深める使い方

- 調べる視点を広げる
- 違う考えを聞く
- 文章やアイデアを見直す
- 学習したことを練習する



してはいけない使い方

- 課題をそのまま聞く。答えを聞く。
- 生成された情報確かめずに使う
- AIの作品を自分の作品として出す

3 安全に使うための約束

迷ったり、困ったりしたら、先生や家の人に相談しよう！



個人情報(名前・住所・写真など)を入力しない。人を傷つけたり、人の作ったものをアップしたりしない。



AIは友だちや先生ではない
AIの情報はまちがっていることもあることを理解する



気持ち・秘密は入力せず大切な相談は大人へ。やめにくい・困ったときは止める → 画面を閉じる → 大人に伝える